

泉 明良 (IZUMI Akira)

主任研究員、博士（農学）
1985 兵庫県生まれ
2016 神戸大学大学院農学研究科博士課程後期修了
2016 施設工学研究領域 土構造物ユニット
2022 施設工学研究領域 施設整備グループ



研究者の横顔

<研究紹介>

全国に約 15 万か所存在する農業用ため池に関する研究をしています。実験や解析による地震に強いため池の技術開発や、地震や豪雨で被災したため池を現地調査して被災要因を分析しています。また、「ため池防災支援システム」や「ため池管理アプリ」、「ため池デジタルプラットフォーム」のような、ため池の防災・減災・維持管理を支援するシステム開発もしています。

<3 児の父業>

我が家には小学 5 年生の長男、小学 3 年生の次男、年長組の三男の子供たちがいます。すくすく元気に育っていますが、自立した大人になってほしいと願い妻と協力して育児に奮闘しています。研究活動では、既往文献から未解決の課題を設定し仮説を立てて、実験結果や解析結果から、仮説を立証し研究成果を創出していますが、育児も類似する点があると考えています。育児・教育書を読み、子供たちの課題点を抽出して、彼らのパーソナリティに応じた教育方法の仮説を立て、育児しています。ただ、研究と異なる点としては、実践した方法が正解であるかどうかはわからないことです。いつ答え合わせができるのでしょうか。

最近の悩みとしては、長男の勉強が難しくなっていることです。算数であれば、点の軌跡や場合わけや幾何学問題、理科であれば、力のつり合いにモーメントと「これは本当に小学生の問題か」と親子で頭をひねっています。星座はまだわかるとしても、社会の都道府県章の問題に至っては、わたしもわかりません。ただ、勉強を通じて共通の話題が増えることに楽しみもあります。

<趣味として料理>

1 回目の研究者の横顔では、美術館巡りについてお話ししましたが、育児に翻弄されてそのような時間はなく、最近は専ら料理を趣味としています。日々の料理はもちろんのこと、夏休みなどの長期休暇では、毎日せっせとお弁当を作っています。ただ、子供達には好きなものをたくさん食べてほしいと思ってしまい、お弁当はいつも茶色いです。から揚げなどは 1 度に 2kg 揚げていますが、子供たちが大きくなると 4kg いるのではないかとヒヤヒヤしています。子供たちも料理に参加してくれる機会が増え、餃子を包むときなどは全員でせっせと 100 個ほど包みます。食材の買い出しは卸売り市場で週に 1 度まとめて買いこんでいます。スーパーと比較すると安価で大量の食材の購入が可能なのでおすすめです。

<健康が第一>

出張が多く、昨年、都道府県をすべて制覇しました。研究と育児の両立は強靱な肉体が必要となります。以前は 80kg ほどありましたが一念発起してダイエットして今では 70kg をキープしています。年々体にガタが来ていますが、人生 100 年と考え、今後も研究と育児を両立させて日々邁進したいです。